

令和元年10月8日

柏市長 秋山浩保様

柏市男女共同参画推進審議会
会長 大村芳昭

「平成30年度 第三次柏市男女共同参画推進計画(前期)報告書」について

このことについて、別紙のとおり意見書を提出します。

柏市男女共同参画推進審議会からの意見

柏市男女共同参画推進審議会は、柏市附属機関設置条例により位置づけられ、男女共同参画に関する総合的な施策の推進に関する審議を行うこととなっています。

そこで、審議会での委員による率直な意見交換を踏まえ、男女共同参画推進計画に基づく施策およびその進捗状況についての意見を提出します。

平成30年度実績報告に対する意見書

1 総合意見

第三次柏市男女共同参画推進計画の3年目の実績報告において、男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくりや、男女平等教育の推進等に課題が見られる。今後も進捗状況を把握し、平成31年2月に改定した計画の推進を図っていただきたい。

これからも「多様な生き方を認めあい 個性を活かせるまち柏」の実現に向け、男女共同参画の視点を持ってそれぞれの施策の推進を図るよう要望する。

2 各課題についての意見

(1) 政策・方針決定への女性の登用促進

市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進の分野において、市の女性管理職の割合を増加しようとする取り組みや、人事配置上の配慮については評価できる。この分野は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第6条第2項に規定する市町村推進計画として位置づけていることから、入庁者の割合が男女半々になってきていることも踏まえ、今後も女性のキャリア支援への取り組みを推進すると共に、市民への啓発に繋げていくよう期待する。

(2) 仕事と生活を両立できる環境づくり

男女共同参画社会には、男女が仕事と生活を両立できる環境づくり、意識づくりが重要であり、それらが推進されることにより、男性も女性も共に参画する家庭・地域づくりに繋がるため、継続的な啓発活動が必要である。

特に若世代にはSNSの活用が効果的であるため、行政と市民が双方向で情報を発信できる方法について、検討をしていただきたい。

(3) 人権と性差を尊重する社会づくり

虐待等の事件が多発し、人権に対する配慮及び性差を尊重することが求められる社会において、被害者の支援はもとより、暴力を生まない社会を醸成するための取り組みが喫緊の課題になっている。

誰もが安心して気軽に相談できる窓口の充実と、関係機関との連携を図り、被害者の支援や予防啓発の強化を図っていただきたい。

(4) 若い世代の参画

男女が性別にかかわらず活躍でき、互いを尊重しあう社会の形成には若い世代の意見や参画が大変重要である。

今回、男女共同参画フォーラムに初めて学生が参画している。今後も、こうした若い世代が男女共同参画の推進に関われるよう事業を工夫していただきたい。